

平成28年度 大館市立城南小学校 学校評価書 (前期 ・ 年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び, どの子どもも喜んで活動する学校

B 本年度の重点目標

「もっている力をさらに高めようとする事」プラス1 ~さらに前進~

C 学校経営の特徴

- 1. 伸ばしたい力や態度の焦点化…マニフェスト 城南っ子4か条 2016
 - ・キラッとさんがいっぱい
 - ・学ぶ力を高め合おう
 - ・元気っずになろう
 - ・地域に学び, 伝えよう
- 2. 家庭や地域の教育力を積極的に活用した「ふるさとキャリア教育」の一層の推進
 - …学校支援地域本部事業



6年 総合的な学習の時間
「ふるさとCM」大上映会
大館樹海ドームで、本場大館きりたんぼまつりに来場した県内外の方々に制作したふるさとCMを見ていただく。

国語科授業研究会(5年国語科)
説明文に資料が入ることで、どのような効果があるのかについて、各自が学んだことを紹介し合う。



D 評価

ア
児童の
状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

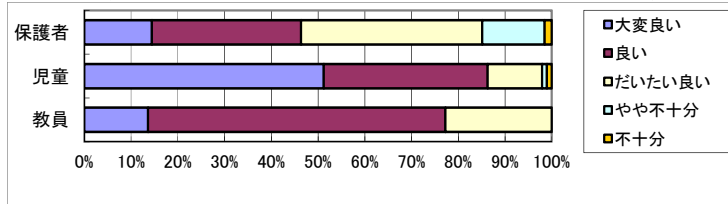
I 自主的・自立的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期 おおむね良好	良好	ヒアリングした児童からも「あいさつの元気な城南小が好き」という回答があり、また学校外でも地域住民とのあいさつを積極的に行っていると感じる。教室内に写真付きの係紹介を掲示するなど、前向きに楽しく責任をもって、活動に取り組めるような工夫がなされている。
	年度 おおむね良好	良好	「あいさつ+α」活動がよく浸透してきており、児童・教員・保護者の評価が上昇している。様々な活動を通して責任感も育っている。今後も、校外でのあいさつが充実できるよう活動を継続していただきたい。
と自己校評の価改の善概要	【前期(→年度)】挨拶運動や挨拶指導の継続的な取り組みにより、挨拶は定着している。さらに、相手を意識した挨拶ができるように指導を継続している。また、今年度も、校外での挨拶もしっかりできるように、登校時の挨拶運動や校外学習での指導と実践にも取り組んでいる。また、集団の一員としての自覚を高めるために、学級での役割を明確にしたり、委員会活動を充実させたりしている。規律ある落ち着いた生活については、城南っ子の約束や生徒指導だよりを発行したりしながら、適宜、機会をとらえて学年学級で指導をしている。		
	【年度(→次年度)】挨拶運動や挨拶指導の継続、委員会活動、大館子どもサミットをうけての「あいさつ+α」活動により、挨拶への意識が高まり、校内での挨拶はよくできている。しかし、登下校時の挨拶が不十分だったり、個人差があったりする。今後も、いつでも、どこでも、誰にでも進んで挨拶を合言葉に、よりパワーアップした挨拶運動を進めていきたい。また、学年集会や学級指導では、城南っ子の約束や生徒指導だよりなどを活用した生活指導も継続し、委員会、当番、係などの活動を通して、集団の一員としての自覚を高めていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外での元気な挨拶	学級活動や集会など学校生活全般を通した指導、挨拶運動	3	3
	(2)規律ある落ち着いた生活	社会規範やルール遵守の指導、学年集会の活用		
2 集団生活・集団活動	(3)集団の一員としての自覚のある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年アンケートや学年集会の実施	4	4

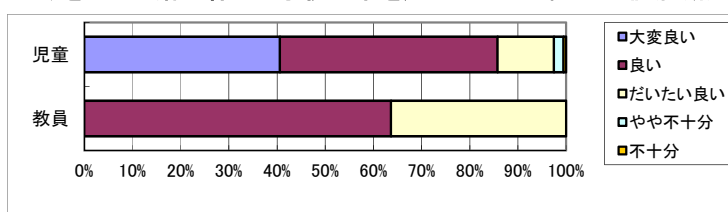
[1に関するデータ]

○地域や学校で元気にあいさつしているか。 平均値(前期) 保護者3.44 (3.41) 児童4.35 (4.27) 教員3.91 (3.70)



- ◇保護者の挨拶運動
5月(6年保護者)～11月(1年保護者)
- ◇児童の挨拶運動
12月(6年) 1～2月(5年)
- ◇教員の挨拶運動
3月(2人ずつ担当)
- ◇委員会の挨拶運動(通年)
※地域あいさつ運動週間(10月)

○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。 平均値(前期) 児童4.23 (4.04) 教員3.64 (3.50)



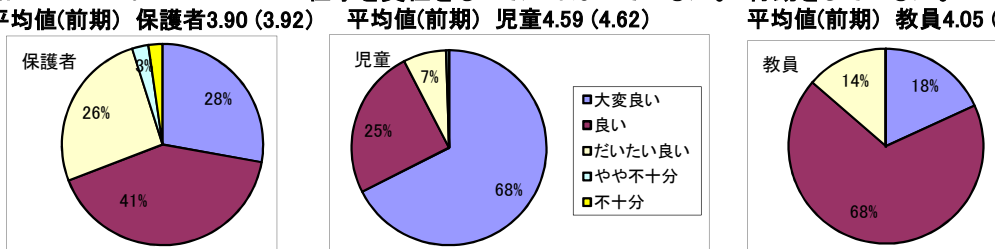
- ◇「城南っ子生活の約束2016」の配付
- ◇学年集会の開催
各学級で統一した指導ができる。
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付

[2に関するデータ]

○子どもは、学校が楽しいと話しているか。 平均値(前期) 保護者3.90 (3.92)

○学級のみみんなのために、係や当番の仕事を責任をもってがんばっているか。 平均値(前期) 児童4.59 (4.62)

○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。 平均値(前期) 教員4.05 (3.65)



◇学年自慢発表集会の開催

各学年とも、集会に向けて学年集会を開き、2回目の学年アンケートの結果をもとに、自慢できること、もっとがんばらなければならないところを確認した。そして、学年の特色をだしながら、大きな声で発表を行い、自分の学年のよさとがんばらなければならないことについて、しっかりと向き合うことができた。

ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

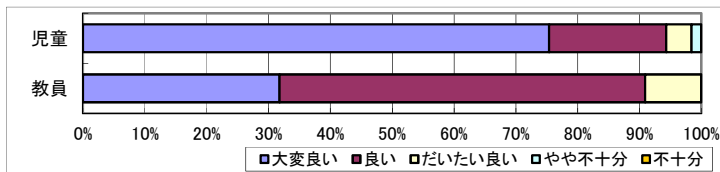
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いに認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	良好	キラッとさんが学校全体に定着し、お互いのよさを認め合うことが自然にできている。今後も様々な活動を通して認め合うことで、自己有用感を育んでほしい。道徳の時間を含む道徳教育のさらなる充実に努め、子どもたちの豊かな人間性を育てていただきたい。
	年度	良好	良好	道徳の時間の充実、友達を認める取り組みの継続によって、人間関係がよい方向に向かっていることが分かる。児童に関する情報共有が迅速に行われ、支援員を含めて、多くの教師が児童一人一人の指導・支援に関わっていることも大いに評価したい。
と 自 学 己 校 評 価 の 改 善 策 要	【前期(→年度)】 キラッとさんが学校全体のものになり、様々な場面でお互いのよさを認め合うことができています。それが励みとなり、さらに頑張ろうとする気持ちが育ってきている。今年度は、学校キラッとさん、お家キラッとさんという活動も行い、学校や自分のよさを再確認している。今後も一人一人のよさを認め、縦割り班活動や集会、学級活動などで活躍の場を設けることで、自己有用感を高めていきたい。週1時間の道徳の時間を大事にし、さらに充実させるために、先生方に教材研究や保管してある資料の活用などを促してしていきたい。			
	【年度(→次年度)】教育相談や児童理解を通して、児童一人一人の状態を全職員で把握し見守っている。また、学校生活の様々な場面でキラッとさんが浸透し、児童の励みになっている。(2学期は「自分キラッとさん」として自分のよさを見付ける活動も行い、自分のよさの確認ができた。)道徳では、「私たちの道徳(文科省)」の活用や教材研究に力を入れ、道徳の時間の充実に努めた。今後も一人一人のよさを認め、活躍の場を設けることで、自己有用感を高めていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり、縦割り班活動、集会活動、一人一人のよさを認め合う場の設定	3	4
	(5)道徳の時間の充実	全校道徳の時間の実践、道徳的実践力の育成、「わたしたちの道徳」の活用		
4 児童理解	(6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、児童理解、教育相談	4	4

[3に関するデータ]

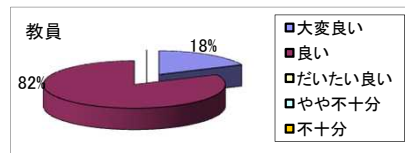
○優しい気持ちで友達に接し、だれとでも仲良くしているか。

平均値(前期) 児童4.63 (4.60) 教員4.23 (3.90)

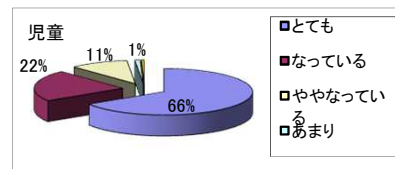


○道徳の時間の充実

平均値(前期) 教員4.18 (3.74)



○道徳の授業は自分にプラスになっていますか。児童(前期) 4.52 (4.27)



◇クラスみんなで遊ぼう(12月)

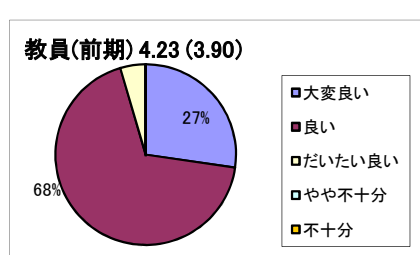
◇全校道徳の実施(毎週水曜日)

◇ペア学年集会の実施(11月)

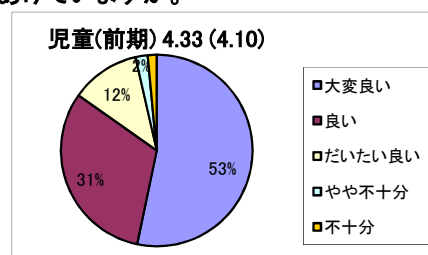
◇ソーシャルスキルやエンカウンターの実施(学級活動)

[4に関するデータ]

○一人一人に居場所や活躍のある学級



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげていますか。



◇いじめ調査アンケート・教育相談…10月20日

◇生徒指導カード作成…冬休み

◇職員会議での情報交換

◇キラッとさん(帰りの会発表、おたより掲載)

◇キラッとさんがいっぱい(自分編、全校編)

○全職員による障害児及び支援を要する児童への指導対応 平均値(前期) 教員4.23 (4.00)

教員 大変良い(27%) 良い(68%) だいたい良い(5%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

◇特別支援教育支援員6名の配置

1年2クラス、2年2クラス、特別支援学級1クラス、個別の支援1

校内特別支援委員会(年3回)、校内就学指導委員会(年3回)で児童の実態を把握し、効果的な支援を行うために配置替えも行っている。特別支援コーディネーターを中心にミーティングも実施。

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

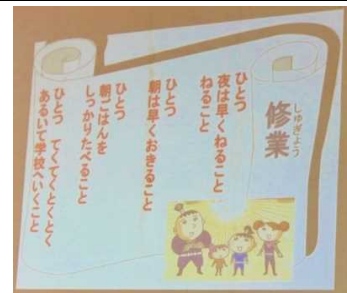
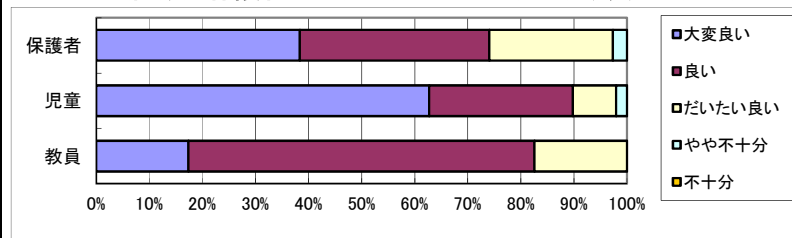
児童生徒の状況	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	「早早朝とく運動」や残量調査の取り組みが、成果を上げてきていることがアンケート結果から分かる。体力の向上については、体力テストの結果分析を踏まえつつ、望ましい生活習慣の指導も併せて取り組んでほしい。
	年度	良好	良好	保健衛生や食育については、委員会活動と関連させながら指導することで、効果を上げている。体力づくりは、限られた施設・設備を有効活用した取り組みが行われているが、運動する楽しさを一人でも多くの子どもに味わわせる工夫を続けてほしい。
改 善 己 策 評 価 の 概 要 と 学 校 の	【前期(→年度)】「早早朝とく運動」では、早寝早起きや朝食の大切さや徒歩登校のよさを児童に伝えることができ、保護者の意識向上につなげることができた。実態調査を基に2学期は改善または定着を図る指導を行う。食育及び給食指導では、残量調査をすることで、嫌いな物でもがんばって食べる子どもが増えてきている。体力向上では、グラウンドでの業間運動の開始時期を運動会後にずらし、実施回数を各学年週2回に設定したことで、雨天が多い季節でも週1回は活動することができた。走力・泳力調査では、自分の成長を実感できるように、目標をもたせて教科体育や業間運動に取り組ませている。			
	【年度(→次年度)】「健康的な生活習慣の向上」では、前期に実施した「早早朝とく運動」の結果から、養護教諭が改善点を個人カードに記入し、各学級で指導や声かけをした。前期と比較して達成率に大きな変化は見られなかったが、前期に引き続きがんばった児童が多かった。児童と保護者の振り返りコメントから、早寝早起きに対する意識の高まりが感じられた。今後も指導を継続していきたい。「望ましい食習慣の形成」では、野菜を摂ることの大切さや栄養バランスの大切さについての知識や理解が深まった。「継続的な体力づくり」では、前期と同様に業間運動の実施回数を各学年週2回と設定した。天候に恵まれ、自分で立てた目標を達成できた児童が前期よりも増えた。冬期の縄跳びチャレンジは、体育館を使った他の活動と重なることが多かったため、実施回数の確保が難しかったが、各学年で体育の時間を有効に使い縄跳び運動に取り組んだ。縄跳びチャレンジについては、実施時期の改善を検討し、次年度も継続して取り組みたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 保健衛生・食育	(7)健康的な生活習慣の向上 (8)望ましい食習慣の形成	早早朝とく運動、健康チェック、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、ガラガラあわわタイム 食育および給食指導、委員会活動、残量調査、栄養バランスチェック、給食試食会	3	4
6 体力づくり	(9)継続的な体力づくりの実践	パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム、走力・泳力調査の実施、なわとび集会	3	4

【5に関するデータ】

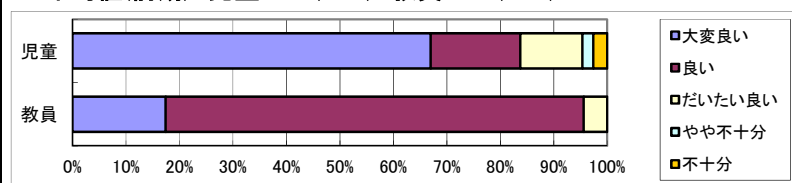
○早ね・早おき・朝ごはんの習慣は身につけているか。

平均値(前期) 保護者4.10 (4.10) 児童4.48 (4.37) 教員4.00(3.76)



○好き嫌いをあまりしないで食事をしているか。

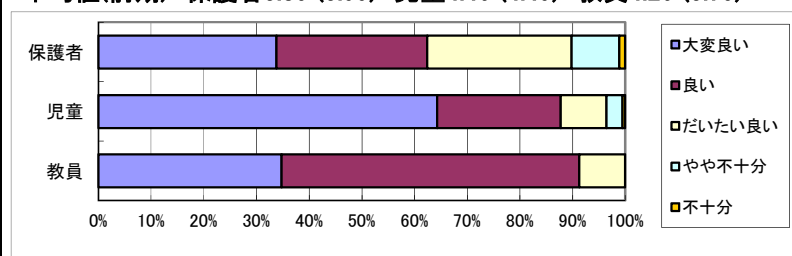
平均値(前期) 児童4.44 (4.41) 教員4.13 (3.71)



2回目の「早早朝とく運動」の事前指導として、保健委員会の児童が忍者に扮し、取り組む項目を「修行」として紹介した。最後には取り組む際、大事なことをクイズにして児童の意欲を高めた。

【6に関するデータ】 ○自ら進んで体を動かしたり、運動に親しんでいるか。

平均値(前期) 保護者3.85 (3.99) 児童4.46 (4.49) 教員4.26 (3.75)



3年生の食育では、給食の材料を赤・黄・緑の3つに分類し、緑の食材がたくさん使われていることやバランスよく食べることの大切さを学んだ。また、自分の朝食についても3つに分類し、今後のご飯の食べ方について意識を高めた。

城南スポーツタイムⅡ(9～10月)

内容:城南サーキットを各学年週2回実施

城南スポーツタイムⅢ(11～2月)

内容:体育館で縄跳びを各学年週1回実施



ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力

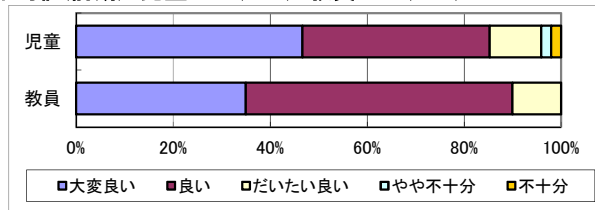
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	良好
	年度	良好	きわめて良好
善要自 策と己 学評 校価 改概	<p>【前期(→年度)】「学習のきまり達成カード」を活用し、各学級の目標を明確にしながら指導を行った。1学期末には、各学級、さらには学校全体の課題を把握することができた。2学期からは、それらの課題をもとに学習ルールの定着にさらに力を入れて指導していきたい。また、言語活動の目的を明確にして、個々の学習のより一層の理解につながるよう取り組んでいきたい。</p> <p>【前期(→年度)】前期の課題に対して、指導を継続してきたことにより、学習ルールが定着してきた。授業中の発表の様子などからも、学び合いに対する意識の向上が見られた。また、個に応じた学習などでも基礎・基本の定着を図ることができた。来年度は、子ども一人一人が主体的・協動的に学び合うためのさらなる授業改善に努め、学力向上を目指していきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
7 学習への取り組み	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、達成カードの活用、家庭学習の奨励	3	4
	(11)基礎・基本の確かな定着	ねらいと評価を大切にしながら分かる授業づくり、全校一斉テストの実施		
	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、発達段階に応じた話型や反応言葉の活用		
	(13)読書習慣の定着	朝読書・読み聞かせの推進、情報活用の充実		
8 諸検査の状況	(14)個に応じた学習指導の充実	TTの効果的な活用、放課後等を利用した補充指導	3	4
	(15)国・県学習状況調査・CRT結果等と改善	実態把握と課題分析、改善施策の策定・実施	3	4

[7に関するデータ]

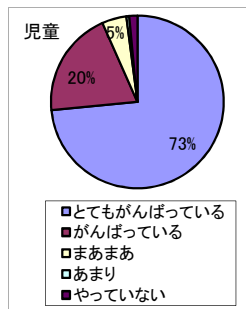
○学習のきまりを守って学習しているか。

平均値(前期) 児童4.26 (4.04) 教員4.25 (3.79)



○計画的に家庭学習をがんばっていますか。

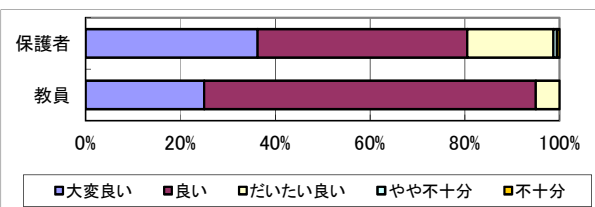
平均値 児童4.61 (前期4.38)
平均値 保護者3.98(前期3.88)



- ◇家庭学習ノート紹介
- ・廊下に掲示
 - ・学年だよりに掲載
 - ・PTAに合わせてノート展開催

○基礎・基本の確かな定着が見られるか。

平均値(前期) 保護者4.16 (4.10) 教員4.20 (3.74)



○言語活動の充実を図っているか。

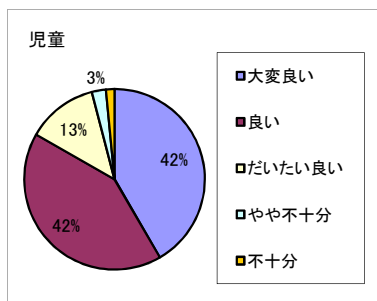
平均値 教員4.10 (前期3.84)

- ・国語・算数科における学び合い
- ・発達段階に応じた話型の活用
- ・反応言葉の活用

○読書習慣の定着

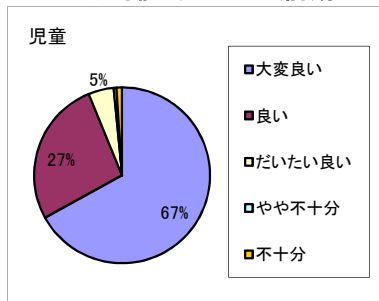
平均値(前期) 児童4.58 (4.50) 教員4.25 (3.84)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。平均値 児童4.19(前期3.94)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。

平均値 児童4.51(前期4.41)



個に応じた学習の取り組みの例

- ・全学年、全時間算数のTTを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導

TTの効果的な活用 放課後等を利用した補充指導 教員4.40 (前期 3.9)

[8に関するデータ]

○全国学力・学習状況調査の結果

国語 A問題: 県平均より+ B問題: 県平均より+ 算数: A問題 県平均より+ B問題: 県平均より+

○全国・県学習状況調査・NRT結果の分析と授業改善 平均値 教員4.11 (前期3.53)

NRT(標準学力検査)は4月実施、調査結果5月、学年ごとの分析6月

全国学力・学習状況調査は4月実施、自校による調査結果5月、結果に基づく研修会8月

イ
学校運営
の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。	前期	おおむね良好	おおむね良好	さらなる高みを目指し、重点目標に「プラス1さらに前進」を掲げ、学級力アンケートを実施して、子どもたちと教職員が一丸となって新たな可能性を探ろうとする姿勢は大いに評価したい。数値的な評価だけにとらわれず、教育の原点を見据えた取り組みの成果に今後期待したい。
	年度	良好	良好	「プラス1さらに前進」の達成を目指し、学級力アンケートを実施して、教職員・児童・保護者のみならず、地域全体を巻き込んだ教育活動への積極的な取り組みは、学校全体の潜在能力を引き出し、成果として現れている。地域のベンチマークとしての役割を意識して、今後もチーム城南として牽引していくことを期待したい。
と自己評価の改善の概要	【前期(一年度)】重点経営目標のサブタイトルを「プラス1 さらに前進」とし、昨年度掲げた「プラス1一歩前へ」での取り組みを基にしながら、子どもたちがもっている力をさらに高めていけるように、日常的に城南っ子4か条の取り組みを通して指導の積み重ねを行ってきた。取り組みの状況については、今年度も学校報の校長欄で毎月保護者に伝えている。総合での学びを子どもたちが自信をもって地域に発信できるよう今後も後押ししたい。			
	【年度(一次年度)】集会等を活用して「プラス1さらに前進」の意識付けの強化を図り、教職員・児童が共により高みを目指した教育活動に取り組むよう促してきた。これにより、児童は生き生きと学習する姿を見せ、それを支える授業改善の研修も順調に行われている。ふるさとキャリア教育の推進に当たっては、外部講師の活用だけでなく、地域に出て発信する活動も十分に行うことができている。			

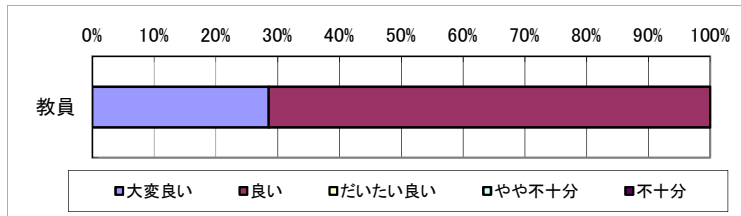
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
9 学校の明確な経営方針	(16)経営方針や重点目標、施策の明示 (17)城南っ子4か条に向けた組織的な実践	職員会議、PTA総会、校報での明示 指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	4	4
10 教育課程の編成と実施	(18)特色ある教育課程の編成と実施	付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進	3	4
11 職員研修	(19)授業改善と指導力の向上	国語の研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究	3	4

〔9〕に関するデータ

○経営方針や重点目標、施策の明示 平均値 教員4.38(前期4.00)

教員 大変良い(5%) 良い(90%) だいたい良い(5%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

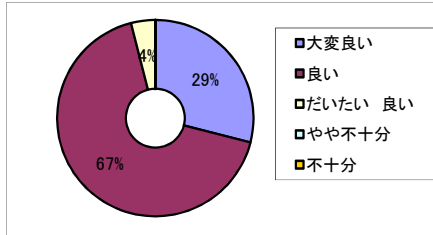
○城南っ子4か条に向けた組織的な実践をしているか。平均値 教員4.29 (前期4.00)



城南っ子4か条2016
☆キラッとさんがいっぱい
☆学ぶ力を高め合おう
☆元気づけよう
☆地域に学び、伝えよう

〔10〕に関するデータ

○ふるさとキャリア教育の推進。平均値 教員4.24 (前期3.85)



○今年度の活動例

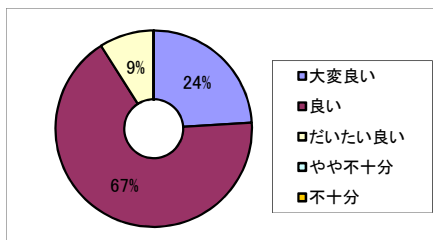
- ・3年 城南保育園, 大館幼稚園(手作りふるさとゲーム)
- ・4年 老人福祉施設訪問(歌や音楽の発表, 交流)
- ・5年 職場体験と匠プロジェクト
- ・6年 ふるさとCMづくり(きりたんぼまつり, 学習発表会などでの上映会)

○県学習状況調査(12月)のアンケート結果から

	4年生	5年生	6年生
・将来のゆめや目標をもっている	93.4%	93.2%	100.0%
・自分にはよいところがある	83.6%	84.9%	96.6%
・人の役に立つ人間になりたい	98.4%	98.6%	100.0%

〔11〕に関するデータ

○授業改善と指導力の向上に向けた研修。平均値 教員4.14 (前期3.63)



○昨年度から国語を研究教科として取り組んでいる。

国語科研究主題: 深く読み、豊かに表現する子どもの育成
～交流活動を通して読みを深める授業を目指して～

○授業研究会の実施

- 6月: 国語科指定訪問研究会(1年・6年)
- 7月: 総合的な学習指定訪問研究会(5年)
- 9月: 特別支援教育スキルアップ授業研修会(わかば・さくら)
- 9月: 算数科指定訪問研究会(3年・4年)
- 10月: 国語科要請訪問研究会(2年・5年)
- 12月: 国語科校内研究会(1年・6年)

イ 学校運営の状況

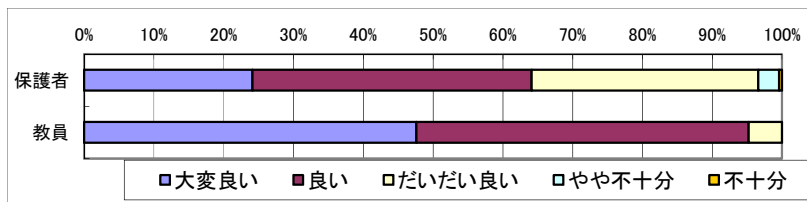
Ⅶ 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	学校の取り組み等については、学校ホームページや学校通信を通じて分かりやすく保護者に伝えられていると思われる。ただ、昨年と比べて保護者の評価が伸び悩んでおり、残念なところである。また、教員の評価も保護者と同程度であることから、今後の改善すべき課題ではないかと考えられる。
	年度	良好	良好	学校ホームページの活用をはじめとした学校からの情報発信がよくなされている。教員の数値に対して保護者の数値がそれほど高くないのは残念だが、更なる改善を目指して、保護者がどんな情報を求めているのかを調査してみるのもいいのではないかと。
と自己評価の改善の善策	<p>【前期(一年度)】学年だよりでは翌週の動きが分かるようにし、学校だよりでは目指す子ども像に関わる記事を中心に構成とし、学校ホームページでは子どもたちの活動の様子が見て分かるように写真を多く載せてきた。クラブ活動や総合的な学習の時間では、今年度も地域の人材や事業所より多大な協力を得て、学びの多い学習を展開することができている。今後も継続して協力を得ながら進めていきたい。</p> <p>【年度(一次年度)】学年だより等紙面では、継続して読んで分かる・見て活動の様子分かる内容となるように心がけてきたが、保護者の評価が前期同様であることから、今以上に児童の声を入れた紙面構成にするなど改善に取り組みたい。また、教育活動の様子を広く伝えるために、学校ホームページに写真を多く取り入れたWeb日記拡大版を前期以上にUPしてきた。前期に引き続き、地域の事業所等より多大な協力を得て地域に学ぶ活動を推進することができ、ふるさとCMでは今年度も県内外の方々に発信することができた。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12 情報の受発信	(20)積極的な情報発信	校報・学年通信の充実、メールやホームページによる情報発信	3	4
	(21)保護者・地域からの情報収集	PTA諸会合、家庭訪問、個人面談、民生委員と語る会、学校評議員会、保護者アンケート		
	(22)積極的な学校開放	「みんなの登校日」、学校行事での積極的な公開		
13 地域の教育力の活用	(23)PTAとの連携強化	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動)	4	4
	(24)学校支援地域本部事業を通じた教育力の活用	地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援		

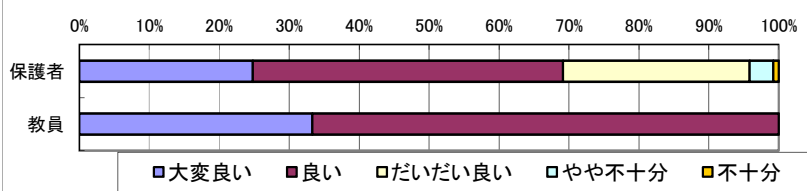
【12に関するデータ】

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。平均値(前期) 保護者3.85(3.83) 教員4.43(3.85)



- 学校ホームページ 更新回数 4~12月延べ45回(8月以降20回)
- Web日記拡大版10回UP(8月以降7回)
- 学年だより 毎週発行
- 学校報 月末発行

○授業や行事の公開、面談等の機会の設定はよくなされているか。平均値(前期) 保護者3.89(3.94) 教員4.33(3.95)



- ・第2回みんなの登校日 10月22日~10月23日
- ・学習発表会 10月23日
- ・PTA授業参観 12月10日
- ・PTA懇談会 12月10日
- ・第3回みんなの登校日 2月28日
- ・PTA学年末懇談会 2月28日

【13に関するデータ】

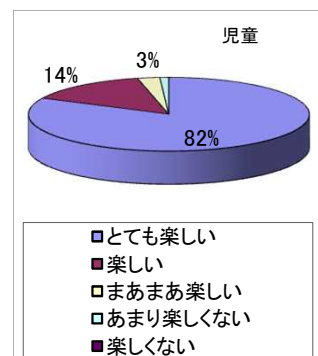
○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。平均値(前期) 保護者3.82(3.72) 教員4.05(3.95)

保護者 大変良い(22%) 良い(44%) だいたい良い(29%) やや不十分(4%) 不十分(1%)
 教員 大変良い(19%) 良い(67%) だいたい良い(14%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。平均値(前期) 保護者3.97(3.88) 教員4.57(4.15)

(学校支援地域本部事業)

- ・学習指導への補助・・・読み聞かせ/毎週月・木(13名登録、低学年を優先して実施、校外学習の引率補助)
- ・各事業所等の協力・・・2年生活科、3~6年総合的な学習の時間
 中央図書館、デイサービスかつら、ケアセンター一心堂、ケアセンターようこう赤館、デイサービスおとり、大館幼稚園、城南保育園、しんこや菓子店、ウオズミ片町本店、羽沢住宅建築、山城運動具店、いとくショッピングセンター、秋田看護福祉大学、大館ケーブルテレビ、大館市消防署、フィットネスクラブFine-Fix、石垣鐵工、大館郷土博物館鳥潟幸男氏、大館市観光課石田徹氏、釈迦内サンフラープロジェクト日景賢悟氏、陽気な母さんの店畠山市子氏、大館市移住交流課塩崎泰良氏・佐々木美佳氏、北の國庵國元厚孝氏、柴田慶信商店柴田昌正氏、古書やまもと山本洋子氏、大館市子ども課佐々木利将氏・青柳美和子氏、さくら理容館貝森政彦氏・えのぐ屋・ローソン大館一心院南店・いとく東台店・クローバー花店、めがねサロニング店、伊東写真館
- ・クラブ活動の指導・・・英語、パソコン、お茶、オカリナ、手話、バルーンアート
- ・行事等への支援・・・スキー教室への保護者の協力者 11名
 朝のあいさつ運動(4月~11月 保護者284人 参加率72.4%)



お父さんやお母さん、地域の方と一緒に勉強したり、活動したりするのは楽しいですか。平均値 児童4.75(前期4.68)